

あ り や



卷之三

第3號

頌價10エン

ある日の市民



人間苦を忘れて笑つた

④犬を連れた西郷さん
(右端)や男装の麗人、
おすましの紳士もいる
假裝行列のスナップ。

③一等はあなた／＼
ゴーラインの風景

⑤アツ、駄目だ！火種
が動いて、なかなか煙
草に火がつかん……喫
煙競走。

(15頁記事参照)



芦屋を讃う

大生庵主

木犀や宵宮の太鼓時に急
木犀に山車停めたる登り路

芦屋の祭礼は、秋の半ば裏山の松茸の出る頃であり
味覚の秋の果実類が出揃う好期。
木犀（桂の花、月桂）は、芦屋の家々にどつと咲く
というほど香氣が清澄な空氣に混つて身にせまる。

梅花や蘭の香りは、暗香不動幽玄な形容詞で愛され
ているが、芦屋の桂の香はもつと民主的で、大衆的な
親しさと床しさを市民に與えて呉れている。

○

ジャズの高鳴る川邊の道や、夜の街々からビアノの
音が静かに流れて来る。遊子でなくとも、軽いノスタ
ルジヤに誘われるのがわが住む芦屋である。

○

桂の花を、もつともつと植えて、香水にでもして、
芦屋の特產品にならないものだろうか。（十一月十六

日夕記）

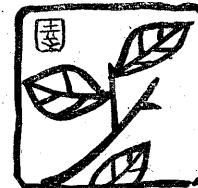
木犀の香りにむせび神興かき
稚兒ゆけば桂の花の散りごぼれ
猿田彦桂花咲く街を練る

カツトは猿丸市長が芦屋の特產品（打出焼）に描いた
短詩（大生はその雅号）……



住みよい、明るい芦屋の再建

芦屋市長 猿丸吉左エ門



市

民各位と市役所とを直結して市政の明朗化を図ることは、私の市長立候

補當時からの念願でありました。この度これが具体策の一つ

として、街頭弘報宣傳を実施することにいたしましたのであります。が、各位におかれましても市民のマイクとして精々この施設を御利用願いますと共に、尙私はこの機会に市政の現況と計画の一端を申述べて一言御挨拶に代えたいと存する次第であります。

す最初に本市の財政事情について申上げますと

御承知の通り目下の各市町村財政は、何處にありましても窮屈を告げおらまして、当市の如きも極めて困難な状況にあります。幸いにして各位の御理解と御協力により、納税の如きも事業税等一、二を除いては可成なります。

稅外收入の増加と、事業の重点的遂行、消費の節約に力め

るならば、市民の稅負担は必ずや軽減せられ市財政は往年の精道村時代の豊かな財政状態に復元し得るものと確信いたす次第であります。

民各位におかれましても何かと御負担の多い折

柄御迷惑とは存じますが、納稅に御協力をいたしまさますと共に、御助言をも賜わりますよう切望いたします。

次に私は住みよい明るい芦屋の再建に努力いたしまして、市民生活の安定を期したいと考えているものであります。これについては当市の特質から考へて次の三点に重心を置いて計画し実施して参つたのであります。則ち(以下紙面の都合により項目的に記載)

1 分譲住宅の計画

住宅不足による住生活の不安を一掃し自分の好ましい所に好ましい家を建て得る仕組みにいたしたい。

2 街の清掃美化
わが家の周囲はわが手できれいに。

3 家庭保険制度の活用と市民病院の設立計画

4 鎧谷公園墓地の建設

梅林計画と併せ目下測量中。

二、教育文化都市芦屋の再建

成績をあげ、競馬奨金及び近く実施の運びにある競輪収益金等を以てどうにか本年度は切抜け得る自信をもつであります。

明

年度はシャウブ勧告によつて、市財政の自主的確立を裏付けされておりますので、比較的明るい希望をもつことと考えております。これを數字的に見ますと本年度市稅收入は約四千四百万円であります。シヤウブ勧告案によると約一億円に近い稅收入を得ることになりますので、一般会計は非常に余裕を生じ経常的經費の大部を賄い得ることになります。然しながらこれだけ租稅が増額されるというわけではないのであります。國・縣・市稅負担の個人平均總額から申しますと、實質的にはそう大きな増減はない筈で、地方稅法の改正確定を見なければ今直ちに判断しかねますが、寧ろ稅負担の軽減に努力せられつつあるものと思料いたします。従つて今後、極力大部分を賄い得ることになります。

これは、十一月十五日、「街頭弘報宣傳隊」が市内に出動して、市政の明るさを圖ることには、私の市長立候補當時からの念願でありました。この度これが具体策の一つとして、街頭弘報宣傳を実施することにいたしましたのであります。が、各位におかれましても市民のマイクとして精々この施設を御利用願いますと共に、尙私はこの機会に市政の現況と計画の一端を申述べて一言御挨拶に代えたいと存する次第であります。

1 戦災復旧学校建築の促進

2 社会福祉施設の充実

図書館の設立、体育場の建設その他市民各位を対象とする各種文化施設の実施。

3 市民のための児童福祉施設の完備。

三、明るい観光都市への努力

1 打出浜ヨットハーバーの建設指定

他都市に見られない日本有数の国際的ヨットハーバー

が打出浜に建設せられるのも程近い。

2 六甲横断道路の計画

ヨットハーバーと对照的に産業道路として將來観光道路として裏六甲と結合する本計画は芦屋市将来発展のために大きな役割を果すであろう。

3 城山の開発

市民の一大遊園として既にその計画を進めている。

4 芦屋観光協会の創立

以上極めて概要につき申述べましたが、各位の御賢察をいただきまして本市將來のため絶大なる御協力と御支援を期待して止まない次第であります。

辿りこし道

★ 治療教育界の権威は、このような苦難の道を歩んだ ★

三 田 谷 啓

○家出がスタート

たくしは六甲裏側の寒村の貧農の家に生れました。小学校を四年で卒業し、十一才から十八才まで忙しい農耕の手傳をして居ました。勉学したい熱望がむらむら燃えていましたが両親がゆるしませんので思い切つて家出し、大阪で医院や法律事務所で書生生活をいたし、医学校入学の準備をして入学したのが翌十九才のときでした。

医学校は六年で卒業し、直に東京にゆきました。そのときから墳墓の地を東京と心秘かにかたきめていたのです。東京で大学の教授や又民間の知名の先生たちに指導をうけているうちにわたくしの探しもとめていた治療教育学という専門をはつきり見つけることができ、わたくしは天にものばるうれしさを感じたのでした。

○汗をかいて勉強

療教育学は医学と教育と心理学とを基礎としてできました。應用学科で異常児童の起る原因を探究し、児童を

試験場に臨み、それでも幸にバスしました。翌年からは中学卒業証をもたないと受験できなくなりました。げに危機一髪というところでした。

○ドーツ留学が夢

時は何と申しても医

学はドイツが手本でした。ことに治療教育学はドイツがもつとも進歩していま

した。しかしその日ぐらしの貧書生が果していつの日に夢の実現を見ることができます



帰國と準備に二十年

度第一回歐洲戰爭勃発の年の秋十月に日本へ帰つてきました

○準備に二十年

國後直ぐに治療教育院ができるよう思つていてましたが、いくらいのことでもそろやすやすとはできません。

大阪市にきて児童課を新設し、日本で最初の児童相談所、少年職業相談所をはじめ、産院、乳兒院、託児所などの施設を企て幸いこれらが実現しました。同時に児童研究に手をそめ、講演会、講習会、展覽会などを昼夜開きました。かくて卒業してから二十年の準備時代が過ぎてしましました。

○宿望の治療教育院

分に通いました。

ところがうれしいことに夢の実現する日がきて、ドイツえ旅立ちました。ヨーロッパングとミュンヘンの両大学で文科と医科で勉強させてもらい、治療教育に関する施設をなるべくひらく目多く參観して足かけ、四年目の丁

科学的、合法的に取扱い、その全生活を改善し生存の意義を發揮させるようになります。

わたくしは貧しい家に生れましたので國元から學費を仰ぐことはできます医学校時代も所謂アルバイトをしていました。朝の二時半まで又は二時半から働いた時代もありました。在

学中は自炊生活でした。休暇中は著述(というほどでもないが本屋から出版したり)や筆耕や行商もやりました。軍隊生活の時代は當内で小遣錢を儲けていました。これはなかなかのアルバイトで珍無類でした。

しろ四年の小学教育をうけたままで中学卒業のものと一緒くに受験するのですから無謀といえば無謀です一本の丸木橋を重荷負いながらわたるほどの藝当ですが、十九才の正月から準備して同じ年の九月の初めの受験をしようというのですから超スピードでないと追つきません。六月まで法律事務所の書生をしつつ豫備学校えましたが無理がたたつて六月にははげしい神經衰弱になり、休学して故山に病を養うことになり、九月には薬瓶を携え、蒼白い顔付で

東京に望んでいた治療教育院は端なくも芦屋の地にスタートをさることになりました。難産といえども隨分難産でした。愚な事業だといつて世間から嘲笑のうちに生れました。その当時は一般的の理解は少なかつたのですが、ただ利用する人にかぎつてよろこんで下さいました。学業の

きぬもの、言語発達の後れたもの、性格異常、からだの虚弱

児などを取扱い、附属の小学校で指導し、現在では大学や専

門学校を卒業し、又在学中のものが數十名あります。その間

に母親相談、講演、講習、展覧会などをひろく催しました。

「捨てるな一人も捨てるな」と叫びつづけて四十年、やつと

児童福祉の法律が公布されました。わたくしはうれしくてな

りませぬ。今日では世間がこの種事業をみだりに無用呼はり

することはゆるされません。

○今後の児童問題

社会法の法律はスタートをきつたばかりです。この法の精神を徹底するには当局者はもちろんのこと、社会一般も正しく認識する必要があります。法律ができたとて幾百万の児童が直ぐに救われるには到りません。由來異常児童は世間からも極言すれば社会事業家からも繼子扱いにされた親があります。その証拠に全國に僅か十数個所の施設があるにすぎません。日本の民族は大局を観ることに不得手です。社会精神がさらにさらに國民の心の中にしみこむ必要があるのです。日本の現在は社会精神の飢餓から救われなければなりません。(筆者は治療教育界の權威者・現に芦屋市翠ヶ丘町に三田谷治療教育院と私立翠ヶ丘小学校を經營し、その校長である)

文化藝術研究 橋本雪後

私が芦屋へ来て、もう三年になる。三年などといふ短月を申し上げると、何だか風来坊のやうに思ひ召されやうが、私の娘二人が当地在住数十年にわたる生田さんに縁付いてゐるので、芦屋とは血より濃い関係がある。その私がとうとう大阪を去つて芦屋に落つくのに何の不思議はない。それ芦屋は名だたる天下富裕の地だ。その芦屋の地へ私ごときものが飄然やつて來た。物質の背景がないと何だか尻

そこばゆい氣がするが、併し今は舞台は廻る。物質よりも趣味だ。酌めとも盡きぬ趣味をもつて芦屋に対する。ここに於てツンとすまして落着いてゐるのである。

名にし負ふ芦屋の山は瓶ひに

私の生命は趣味だ。私のゆくところ必ず趣味を求める。そこで芦屋へ来て第一にうれしく思つたのは「芦屋道満大内鑑」のお芝居の一幕に触れたことである。このお芝居は

・表紙絵

柴谷宰一郎

芦屋を讀う 大生庵主 1

任みよし明るい芦屋の再建

辻り來し道 三田谷啓 2

文化芦屋記譜 橋本雪後 4

静かなる心のよりどころ 芦屋保子 9

うちなるものを 中貝敏子 10

弘報委員全体会議記録

実状を知らせよ 兵庫民事部民間報道課長ボール 12

笑い興じた市民 15

自己批判 15

街頭錄 音 (市民の声の集録) 16

腹にすえ兼ねるこわ持て (市政展望) 16

市民税の課税標準はこれ 17

羊の皮を被つた狼の餌食となるな 17

ある日の統計資料 (社会科教室) 24

成果をあげた街頭弘報宣傳 26

編集後記 27

××新聞記者の生 28

第三号 目次

さて、次は在原業平卿のこと、兄弟の行平卿は、須磨で相当後世に浮名を流した。芦屋に於ける業平卿の行跡は、伊勢物語にちよつびり出てゐるが、村雨松風などといつた海女とからんで、歌詞や舞踊の材料になるほどでもない。が近く打出の里へ父君阿保親王がさすらはれて、業平卿もここ芦屋の里に住居の幾春秋、何しる光源氏をはじめの好男子業平卿のこと。一つ賑やかに春風花の雨とでもいつた女性にからんで、舞踊の一舞台でもあつてほしいが、そした記録のないのは、物足らぬ氣がする。何しろ業平町

三人の幼児を抱えて、健氣に働く若き未亡人の手記

最近、社会的に相当な関心を持たれております未亡人の問題、残業菲才の身を以て未亡人を代表してとは申上げ兼ねますが、ただ一人の未亡人として、私個人の立場から思いましたまま、つたなき筆もて申述べ度いと存じます。

一がいに未亡人と申しましても、お年を召され既に人生に成功を納められた方、また新婚のようこびより戦争或は病のためこの不幸に陥られた方、その他私自身の様に子女数人と共に、わびしき人生の旅路を余儀なく歩み行かねばならぬ方々も相当あることと存じます。

芦屋保子の心臓なる心

足場は根こそぎくすおれ果てたる感が致します。希望は全く失われ、せん方つきたる旅路に私は何を求めて生きるべきやを考えさせられます。しかし常に共にある遺されたる子供の顔は責任と義務として重荷でありますながらもただ一つの励ましであり力で御座います。

幼い子供は病に罹されることも珍しくは御座いません病んだ子をかかえて、私共ははたと当惑しなければなりません。生活に追われる身には療養費のねん出は血の出る苦しみで御座います。また、たどり健康に恵まれた子

て見ると、何だかそうしたいきいとした業平卿が身近におられるやうな氣がしてならない。谷崎さんは芦屋の婦人に平安朝の面影がしのばれるといつた。して見ると芦屋の男子方に業平タイプの多いのを見受けれるのも、強ち偶然でなからうと思ふ。ハテ、これはお世辞かしら。

紅葉狩鳥帽子狩衣ほしきかな

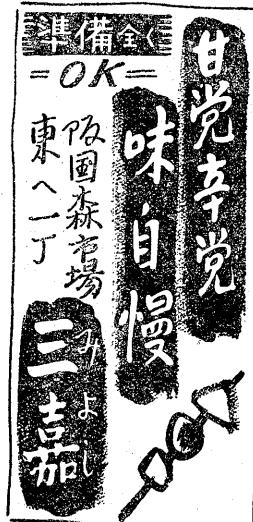
私は嘗て芦屋釜をもつてゐた。肩と胸に梅の地紋を巻かせて、すんなりとした丸形のおとなしい釜であつた、書付は大徳寺独山和尚の詩偈を以てした。私はこの釜に未練がある。こうして芦屋に落ついて見ると、たゞへ茶室ではなくとも、あの釜がほしくて仕方がない。私はかく芦屋に在住するがため、芦屋と名称をもつたの釜に眷恋するが、もともとこれは私が錯覚しているので、芦屋釜の芦屋は当地でなく、遠く九州筑前の芦屋であるのだ、四五百年前に九州の片田舎である茶道でやかましい釜が出来た、寒雖然は北陸、天狗は上州といった風に、同じく芦屋釜は田舎つぽである。併し今日に於ては京釜をしのぐ價値を示し、釜での

の岡野邸あたりに、その旧居があつたといふかららしい。短歌に於て、當時に於ては尖端をきつた歌人。古今でも新古今にでも新らしさに於てすばぬけてゐる。「都鳥」や「八つ橋」の詠で馴染が深いだけ、ここ芦屋に居を構へて見ると、何だかそうしたいきいとした業平卿が身近におられるやうな氣がしてならない。谷崎さんは芦屋の婦人に平安朝の面影がしのばれるといつた。して見ると芦屋の男子方に業平タイプの多いのを見受けれるのも、強ち偶然でなからうと思ふ。ハテ、これはお世辞かしら。

冬籠茶巾でたたく芦屋釜

王者の觀がある。

サテこうなると釜のため田舎の芦屋がいかにも惜しい、一つ茶道の本場の京阪地方の製作として天下に横行せしめたい。釜はどちらでござります、ハイ芦屋で、神戸の手前の芦屋のものでと、茶室の中での應答を求めたい。当地は形勝の地である。かうした名釜の製作地として、頗るふさはしい地である。富裕なふつくるとした土地柄は名釜の作柄にしつくり合ふ。寶づくしだとか、松竹梅の地紋の芦屋釜を当地の作といつたら、どんなにいいだらうか。考証家早野先生あたり、何とか考へて頂けませんか。



◇…女中生生活九ヶ月餘、私はここに再び土の子として古巣の土へ帰ろうとしている。女中の見た芦屋^{アシガ}在芦^{アシガ}九ヶ月^{クモト}を拙い筆で綴つてみようと思つたのは、この芦屋が、私にとつて十八ヶ年住みなれた但馬を離れて生活した最初の土地であつたためか、この九ヶ月の生活が非常に印象深く、この生活によつて作られた観念は私の社会観の大きな分野をさえ占めてゐるからである。

◇…女性解放が呼ばれる家の奴隸のような生活であつた日本の女性達に、時間の余裕が與えられなくてはならないと言われるようになつた。ところがこれより前に、昔から、芦屋夫人とは有閑マダムと同義語の如くいわれて來ているのである。有閑マダムなる語は芦屋の婦人から返上されてしまつてゐるはずである。ところが、現在なお有閑マダム然としている人が居るのはいかない。昔はこの「閑やかななる社交界へ出入のためにつかつたり、無意味にいわゆる「時間づぶし」をやつてもよかつたのである。

それは、この「閑」が特權階級の権利であつたからだ。しかし今は違つてゐる。現在のそれは人間の生きてゆくための権利である。そして、この「閑」いや「余裕」をいかに女性のレベル向上に資するかは女性に課せられた義務ですらある。働くかなくつて食える御身分^{身分}として遊んでいたりする時代ではないはずである。

◇…ところで、この時間の活用法である。録劇もよからう、映画も読書も結構。日常の疲れをやすめ知識の泉として必要なものである。しかし、ただ劇を、映画を、小説を、見たり読んだりするだけであるとしたらどうであろう。

◆：私はこう言いたい。劇も映画も小説も絵画だつて音楽だつて、ただ見たり読んだり聞いたりするだけのものであつてはならないのではないか。他の人が演じ、描き、奏てる、これらものを、よりよく理解するためにも、その前に私達はシわがうちなるものを見つめる必要があるのではなかろうか。私は「私達はみな藝術家である」と言いたいのである。私達の心の内より湧き出づる自然に対する、又は生活に対する情熱と言おうか、感興といおうか、これらは私達にかぎりなく深い幸福感を味わわせてくる。過去の日本の女性には、

りなかつたのではないか。
◇：もし、封建的な家庭にあつて、
観劇や読書の余裕がないとしても、
その心の調べに耳をかたむけるこ
とが出来る者は幸福である。大人は
子供の時代を経て來るものであり、
心の奥にはやはり過去の想い出はあ
るはずだからである。モダンアート
と言うのか、あのシユウルリアリズ
ムの絵画や、アブストラクトアート
などを見賞する時でも、画家のうちなるものを見表現され
たこれらの絵が、ただぐ変てこなものではなく、自分の心に
ひびいて來るはずである。
◇：ただ吉屋の婦人方にこれだけ言いたいのです。忘れられ
ていた情熱を掘り下げて見下さい。そして名実共に天下の
吉屋夫人になつて下さい。くうちなるものを見つめるとい
うことは誠なんですが、まだ小器用な社交のような調子ではいきません。
◇：田舎者のたわごではありません。乳くさい小娘の夢で
あるかもしません。然し、現在の世の中にはこのたわごと
夢も案外必要なのではないでせうか。

弘報活動について

弘報委員全体会議で市長挨拶

吉屋市弘報委員全体会議初会合は十月十三日前九時半から佛教会館で開催。松岡弘報主任の開会宣言ののち、猿丸市長が起ち、

そこで、狼が二百四十二匹死んだと宣傳して、ロシヤの偉大事を説いてゐる。宣傳を重視してゐるのである。

戦争中、戦況われに不利であるにもかかわらず、情報局の報道により、われわれは勝つてゐるのだと信じ切つてゐた。

こういう事実を考えてみると、いかに報道宣傳の重要であるかということがわかる。

いま、日本は、長い封建制度から抜け出て民主國家へ出发しているのである。この新たな民主國家体制を確立することを唯一の信念としている。然らば、眞の民主主義の確立のためには何が必要か。まず第一に

一、日本國民が一人のこらず、それぞれなすべきことの理由、由來を知つて行うということ。即ち、認識してかかること。

二、凡をなそうとすることは、一つの目的に対しても手段はたくさんある。その中にあつて自分が自由で誰の意志も加えられず行うこと。即ち、民主的に方向を決定するこ

何分、弘報という仕事は、新らしい仕事でありまして、十分理解されていない憾みがありますが、一口に申しますと、市政の現状を市民の方々に報道すると共に、絶えず市民の声を聴き、市民の世論を市政に反映させる任務を持つておられます。

要は、弘報活動を活潑に行うことによつて市政の円満遂行を期せんとするに外ならないのです。皆さん方の全幅的なる御協力をお願い申し上げます。

（了）（略）（略）（略）

近畿縣弘報室長（講演要旨）——最近、外務省のある人で、ソ連大使館から帰つた人の話によると、フィンランド北方のことだが、人工雷の実験をしたところ、雷に打たれて狼が四匹死んだ。この写真が二百四十二枚撮られた。そ

近

あるアメリカ人は「アメリカにおいても報道の必要なこ

とは認められている。報道機関のないところや報道にもれ

う必要性を痛感したのは、國民にいろいろ知らせたいとい
う面を考え、弘報室の設置方を奨励した。
そして、その苦しみはひどかつた。ところが今日までに
障害は段々と改善された。

私が、今日までやつて來たことは三つある。その一つ
は

一、弘報室の設置。

二、民主的なやりかた（手づき）をどうするか。それ
にはいろいろ討論会を催してやること。

三、友愛の情をいかにして作るかということ。

前の二つは、およそ出来てきたが、パブリックレーニングが出来なかつた。これは、なかなか難かしいのでその代りに書いている。

私は、ただ今東京から帰つて來たのだが、東京總司令部へ行くことになると思うので、書物の完成が出来ると思う。

皆さん、ここに集つておられるのは、芦屋市政の研究が多かつた。越え難い壁にぶつかつて、ぐずぐずしたことがあつた。

そして私は、縣の方へ弘報室を作らなければならぬとい

実状を知らせよ

ボール民間報道課長講演

ボール民間報道課長——私は民事部で一年半報道に從事して來た。正直なところ、時によりがつかりすることが多かつた。越え難い壁にぶつかつて、ぐずぐずしたことがあつた。この重大な意味から、当市も委員を委嘱したのであるが、今後とも皆さんの御協力を願いたい。

山村座長——ボール氏がまだ見えないので、協議に移りたい。

魚谷企画課長——近藤氏も弘報宣傳の必要を説かれた。この重大な意味から、当市も委員を委嘱したのであるが、今後とも皆さんの御協力を願いたい。

皆屋は他市にさきがけて弘報事務を行つてゐる先覚の士の住む文化都市である。芦屋市民として、芦屋市政を知らずして何の民主主義ぞといつたい。皆さん、芦屋市政について、市当局から十分研究し、聞きとる必要があるのではないか。

ね。もし、そうでないと、自分の地位を落すことになる。皆さん自身計画があるので、弘報活動については非常な注意をもたなければならぬ。最も注意が足りないと、危険がある。われわれの希望するのは、市政、縣政、國政がどういう様にやつてゐるか。やりたいかを知らせることが、くだらぬ宣傳の犠牲になることは好ましくない。

國民が、くだらぬ宣傳の犠牲になることは好ましくない。ところが、縣、市の弘報室がやもすればそうなりやすい

ところが、自分らは好まない。そこで、皆さんが縣民、市民に対し責任をもつておられる方がそうならない様に願いたい。

税金、供出、食糧、配給問題、そういうことがどうして必要だからたくさんの法令が出ている。

皆さんには、國民にそれを知らせる必要があり、報道が民衆に早く到達することを望む。

われわれ占領軍において、地方自治制の調査をしたが、多くの人は自治制の何とかを解きたい。地方自治制の法令を暗記しろといつても、それは出来ないのであるが、その主たることは日本國民としても知る必要がある。皆さんには、新憲法とか新自治制とかの法律をもつてゐるし、國民に知らさなければならぬ。

この調査の時に、隣組制度はいいですかと聞いたところ六九%よいと答へた。

その主なる理由は、配給に便利であり、隣同志が密接になる。この二つの理由である。がそれは感心しない。それは民主的観念が植えつけられていない証拠である。そのことは皆さんの力によらなければならぬ。私はどうして、

こういうことを申したかといえば、弘報とふかい関係があるからである。

そしてそれは皆さんの責任である。そこで、皆さんに望むことは次の二つ。

一、民衆をして関心をもたせること。

二、実状はどうであるかを皆に知らせること。

本日は、御静聽を感謝する。以上の事柄を心にとめおかれてることを望みます。今日、私の申したことは根本的に初步である。弘報を全部喰舌ると一日でもつきない位多いので、その一部を披瀝したにすぎない。

魚谷課長——市政を市民に周知徹底させることに、皆さんの協力によつて弘報の完全を期したいと思つてゐる。

弘報活動については、自動車による街頭弘報宣傳をやりたい。『あしや』誌は月刊建にしたい。世論調査もやりたい。

山村座長——それでは、皆さんの御意見を伺いたい。

片山氏(宮川PTA会長代理)——委員会運営について一、お手盛の顔ぶれが決つてゐるが、こうしたことではボール氏の談のように民主的にやれるか。

二、それから、ある特定の人が弘報の名の下に活動する

といふことが考えられるが……

三、職域、地域の委員定数は確立したものかどうか。

丹原助役——常任委員会は、事務局的性格をもつものであり、地域委員は地域からの委員、職域委員は職域を代表しての委員である。

各委員についても、上から決めたというので、専横的といわれるかも知れないが、今後皆さんの御協力によつて運

嘗してゆきたい。

久保田委員——プリントによれば、市長は常任委員会の委員長らしいが、全体の委員長が必要である。

丹原助役——市長は全体の委員長である。

島委員——弘報委員会の規定があるか。規定は何もないのに、進駐軍の命令でやるというだけでは遺憾である。

單に委員を委嘱して能事終れりとすることはいけない。

松岡弘報主任

弘報は、民主政治の一つの現われである。市政とはいうものの、それは単に市政だけに限定されるものではない。市政から縣政へ、さらには國政につながるものであり、政治のありかた、進みかた等を國民にわかり易く宣傳報道することであり、同時に市民の声を聞いて市政に反映するのが根本の建前である。弘報委員会法が國会に上提される筈であり、これが法制化された時は、一つのワークが出来るのであるが、それまでは暫定的な措置として各府縣市町村も任意の形をとつて現状である。

弘報委員の性格は、大体以上の如くであるが、特に注意すべきは、ボール氏のお話の如く隣組の復活であつてはならない。また政党色を出すことも禁物になつてゐる。

島委員

大体諒解できたが、私の解釈によると、弘報委員会といふのは尙早で、その準備といふのが適当だと思ふ。名称も構成委員会としては如何。

松岡弘報主任

ことさら、準備会といわなくてよいと思う。他府縣の例にみても、弘報委員といふ名前をとつてをり、事務処理上その方が便利であるので、当市においても弘報委員会と名づけた。

久保委員——本日は第一回の会議であるのに、役員も全部決められているのは民主的ではない。この席で決定されるのが適当ではないか。

堺谷委員——天降り的に決めるのでなく下から盛り上はかる様に願う。

丹原助役——皆さんに誤解がある様であるが、國の方針、縣の方針により市民に市政を周知させる機関であるので必ずしも互選しなければ民主的ではないということにはならない。

議は別角度で市民とつながるのである。弘報委員は別の角度で市民とつながるのである。

久保田委員——運営上の首腦は丹原氏の説によれば全體の長は市長と解してよいか。

助役——そのとおりである。

堺谷委員——一町一人では大変だと思う。また任命権は誰か。

助役——地域委員の三人とか五人は固定的でなく、町の大小で決めるべきである。任命は市長が皆様の推薦により委員を嘱託する。

山村座長——定期となつたのでこれで会議を終りたい。

助役——弘報の重大性についてはよく御諒解願つたことを思う。皆さんの御協力により猿丸市政を先導して四万市民に應へたい。

魚谷課長——これをもつて閉会致します。(文責在記者)

笑い興じた市民

芦屋市民の体育祭典

午後の演技は、まづ巧みな扮装による仮装行列(一般)が場内を一周すれば拍手と歓声が湧く。審査の結果は「芦屋マダムの一生」が一等、「乞食」が二等、「律義者の子沢山」が三等荒木婦人会副会長が扮した「西郷さん」は四等、二人舞は五等であった。

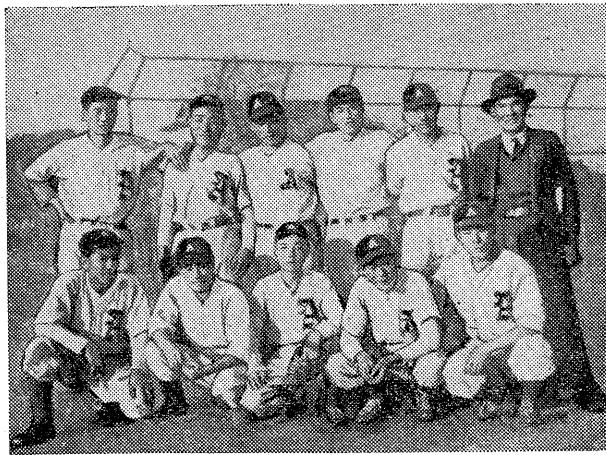
引続いて、砲丸投(有志綱引き)「一般娘取競走(一般)」の二着陸協、三着市役所で競技を終り、最終番組はグランド狭いところばかり婦人会員、青年團員に学童、生徒も交えて踊り廻る「おけさ踊り」に全観衆笑い興じ、丹原助役が閉会の辞を述べ、午後三時すぎ意義深い市民の体育祭典の幕を閉じたが尚、この日、場内にすし、うどん、本誌の賣店も設けたが大繁昌であった。(M生記)

自己批判

ついで、國体出場選手歓迎式に移り、丹原助役が挨拶のつもり、出場選手代表名島氏(足球が力強い答辭を述べ、玉井審判長から監督、選手にふくいくと香る菊の鉢を贈呈すれば、満場の拍手しばし鳴りもやまず。

更に、競技に入り、高下駄リレー(一般)走高跳(有志)混合リレー(一般)ががし(精道小学校)喫煙競走(一般)ダンス「日の丸の歌」(宮川、岩園校合併)サルカニ競走(学童)八〇〇米リレー予選(一般團体男)ダンス「朝日は昇る」(山手小学校)四〇〇米リレー決勝(新中男女、一般團体女)をもつて午前の

◎才幹も人に好かれる素質も、私は十分に備えている。それにもかかわらず世間は私を認めなかつた。私が威名の榮冠を獲得するまで、いかに私は苦闘を続けて來ただろう。(ハイス・クリスチヤン・アンデルセン)



シールス軍と戦つて勝つた？それは夢でした

わが芦屋市役所野球チームが、勝つても敗けても苦にしない
スポーツマンらしく爽爽と勢揃いしたスナップ。

腹にすえ兼るこわ持て（新聞記者の寄稿欄）

◇：市の機関誌「あしや」が発刊され、非常

に好評を博している。そこで我々にも何か書

けといふ。さて書こうと思うと何を書いてよいか迷うほど市会との繋りの薄さを感じる。なるほど個々には非常に親しくして貰っている議員の方も多いが市会全体となるとそうはいかない。個人のありがたとしてはそれでよいかも知れぬが、新聞記者のありかたとしては決してほめたものではない。

◇：新聞記者も人の子である以上好ききらいはどうしようもないが、何人によらず白紙で立ち向い語りかつ聞くべきだと常に反省に努めている。新聞記者としてのみ遇しない市会のありかたに対し個人として入り込むことは百害あって一利もない。個人としての交際なら互に素裸になつて語るべきだが、議員としての交際はあくまで儀礼的でなければならぬ。

◇：これらによつて感情のもつれはあるても、個人としての交際今まで仕事の延長を見るべきでない。その意味でも新聞記者のこわ持ては腹にすえ兼ねることが多い。（O生）



街頭録音

雨の漏る市営住宅

何時修繕して下さいますか？

△終戦後続々と公営住宅が建設され非常にうれしいことであるが、抽せんともなれば不正入居の多いのは如何なる理由か知らないが、市の住宅係に聞けばその様なことは絶対にないと言う。

△私は去る四月抽せんの結果入居させて貰つたが「公営住宅にしては良心的に建てている」と係の言。いざ入居してみると雨漏のひどいのは閉口する。風を伴う雨ともなれば、一家総出で家具の移転にテンテコ舞。又あちこちの家の壁は雨で破れる始末。

△このことを去る五月に申出たが「仕様がオマヘンナー、ホットキナハレ」と言う親切さ？

△家屋の壽命を一日でも短くするつもりか知らないが、もうすこし家を可愛がつてやつてほしい。「それでは個人で修理すれば」と言われるかも知れないが、修理方を申出るたびにすこし待つてくれとか、いろんな口実をもうけて未だに修理をしてくれない。一体いつになれば修理してくれるのか？ 毎月係の言葉を信用して馬鹿の様に待つている。

△雨漏は私の家一軒ではなく五十軒のほとんど雨が漏る状態、一日も早く善処方を考慮されたい。また、これらのことについてご返事を願いたい。（大東町市営住宅A生）

市長と市民の一問一答

〔市長に問う〕 貴下は芦屋にゴルフ場を計画中と聞くが、ゴルフは一部富裕階級の娛樂であるから中止してはどうか。（石田金三）

〔市長の答え〕 ゴルフ場の建設は市民有志の計画で、市費ではない、鏡光の基盤になるので、育成に力を入れたい。

〔質問の二〕 十月にはバザー、運動会、遠足と催物づきで父兄は費用がかさんで困つた。

〔市長の答え〕 これは、全國的の問題で、特に芦屋市だけが実施したのではない。今後は、できるだけ経費のかからぬよう抑えたい。

〔質問の三〕 貴下が立候補された時、小生は大きな期待をかけて應援をしたが、市民生活と縁遠い相撲場など大きな経費をかけたのに驚いた。なぜ、戦災者住宅建設なり、主要道路のアスファルト舗装を急がないか。また市営浴場を四箇所ほど増やしては如何。（理髪屋つき）

〔市長の答え〕 相撲場は川崎その他大部分寄附によつて建てたもので寺院も復活し上宮川町民は喜んでいる。あれをもつと市民諸氏が利用されんことを望みます。柔道、拳闘、レスリングなどの試合には最適ですおすすめします。

尙、親王塚町の國本隆氏その他から市長の返事に対する禮状を戴いたことを附記する。（係）

市民税の課税標準はこれ

務課長
田勘作

市民税の賦課方法は次の通りでありますので御了解を得たいと存じます。

昭和二十四年冬

昭和二十四年分 民稅
民稅 一人平均 七〇〇円
七五〇円 計一、四五〇円

| | |
|--------|--------|
| 市民稅 | 基本 |
| 市課賦 | 平資所等得割 |
| 居住家屋賃貸 | 産割割割 |
| 一個當金額 | 一五〇円 |
| ◎二円八十錢 | 別表 |

(列書卷八) 附錄一 陽明先生全集

| 所得割 | | 資產割 | | 賃貸割 | | 居住割 | |
|----------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 個賦 數課 | 資產額 | 個賦 數課 | 資產額 | 個賦 數課 | 賃貸價格 | 個賦 數課 | 居住價格 |
| 未滿 以上 | 三〇、 二〇、 一〇、 〇〇 |
| 吾個 | 吾個 | 吾個 | 吾個 | 吾個 | 吾個 | 吾個 | 吾個 |
| 未滿 以上 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇〇 | 〇〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇〇 |
| 卡羅 以上 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇〇 | 〇〇〇 | 三〇〇 | 二〇〇 | 一〇〇 |
| 三個 | 五五九八 | 三三 | 一 | 三 | 六六三 | 一 | 居家 |

次に、現在賦課致して居ります市税の賦課率並びに賦課定

一、縣稅附加稅

| 税目 | 課税 | 税率 | 標準 | 区分 | 賦課率 | 賦課定額 |
|------------------|----------------------|-------|-------|----|-----|------|
| 地租附加税 | 本税土地賃貸價格の百分の三百五十に対する | 年 | 百分の百十 | | | |
| 家屋税 | 本税 | 年 | 百分の百十 | | | |
| 事業税 | 本税(第二種)所得の百分の七、五に對する | 年 | 百分の百十 | | | |
| 特別所得税 | 本税(第二種)所得の百分の五に對する | 年 | 百分の百十 | | | |
| 鉱産税 | 百分の四 | 年 | 百分の百十 | | | |
| 木材引取税 | 百分の五 | 年 | 百分の百十 | | | |
| 其の他の縣稅附加税 | 本税の | 年 | 百分の百十 | | | |
| 入場税 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 市民税 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 舟税 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 舟の遊船 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| その他 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 遊船のボート、ヨット、その他隻数 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 舟の取得に対するもの | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 屯 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 取得價格 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 一時 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 百分の五 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 四三〇〇円 | 年 | 百分の百十 | | | | |
| 一〇〇〇円 | 年 | 百分の百十 | | | | |

額表を記しまして一般の御協力を御願い致します。

右の方法において各別個の御負担を決定致して居りますが、なお調査不充分の點等がありまして皆様方の御満足を得る事の出来ませんのはまことに申訳のない次第であります。後期分までには充分調査の完璧を期したいものと念願致して居りますので、今皆様方の御手元へ御送りして居ます書類にて良心的記入をして提出して戴きます様特に御依頼申し上げます。



め、皮革類に及ぼす塩素の影響が大きく各都市水道とも家庭

パッキング取替について

水道課長 木村信忠

水道の修繕を申込まれる方のうち最も多いのはパッキング(ヨマについている革又はゴム)の取替であります。進駐軍の要請によりまして塩素の注入量が増強されたたゞ塩素の影響が大きく各都市水道とも家庭

給水栓の漏水防止には悩まされています。本市に於きましても、本管漏水率が全國平均より下廻つて居りますが、何分にも人手が足りませんので各御家庭でも水漏れの節は直していくかよう御願い致します。修理方法は頗る簡単で水道課で御教え致します。

羊の皮を被つた狼の餌食となるな



三、宣傳の利用

(前々号より)

兵庫民事部民間報道課編

治的に認識を欠いた大衆ということに

なる。

ところが民主主義が流行つてくると、種健な思想の持主はしばしば反動的だといつて貶される。こういう宣傳は眞実と虚偽が相半ばする場合一層有効になる。

第一

二の方は第一の方法の丁度

反対で、宣傳家は彼らの主張

を虚飾の言葉で煽りたてる方法でやれ

既に崇拜する何ものかから出発して

真理だ、自由だ、正義だ、民主主義だ

といつた高尚な言葉が最もよい粉飾語

だが、羊の皮を被つた狼を自分達の仲間と信じる羊の群は容易く狼の餌食となる。

第三の方法は轉移の方法として知ら

れている。これでは、宣傳家は人々が

それ位自分達の持つ計画や自分達が支

持したいと思う誰か個人の名をつくつ

けるので、人々はその人物は偉大であ

り、その計画はすばらしいと信じ込む

わけで、例えば独逸人は自らの民族的希望を充すこ

との出来る人物だと宣傳したわけだ。

日本に於ても昔から國民は天皇陛下の

御恩をうけているという感情をもつて

いう階級の人々は多くの不平をもち、

然も誰に訴える事も出来ず、また、支

配

し

人

々

を

立

て

居

る

下積み階級の

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

下

積

み

階

級

の

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

立

て

居

る

人

々

を

煽

り

藁灰をつくつて火鉢に

火を入れた。季節のうつ

りかわりを想う。一年一

年齢をかきね、やがて灰

になる。「死」を想うと

き、いちばん心が落ちつく。

編集後記

なる。年齢をかきね、やがて灰

といえは結構だが、苦情、苦情、苦情
の連續——しかし、苦情も結構です。
どうぞ、ご遠慮なくお申し出て下さ
い。

先日老いたる旧友から、奥さんを世

苦しい生活のたたかいだ。尖りに尖
った神経を、つよく意識し、どう
かして落ちつこうとしてみるが、なか
なか落ちつかせてくれない。

◇

話して呉れないと、いう依頼を受け
た。奥さんというより、茶飲み友達、
いや、ハウスキーパーというか、生活
協力者がほしという。

◇

壁新聞が出たそなうな……それ、何
だらう……と街に飛び出す。弘報子

は、絶えず宣傳に心を配つてゐるの
で、頭のなかは、いろいろの媒体で渦
巻いてゐる。



このごろ、陳情がとみに多い。陳情



(松)

『あしや』を街頭で宣傳頒布

この日、弘報『あしや』を宣傳頒
布したが、係員の巧みなマイク放送
によつて、なかなかよい賣行きを示
した。

あしや

第三号

頒價 十円

送料六円

隔月發行

送料共一年分九十六円

昭和二十四年十二月五日印刷
昭和二十四年十二月五日發行

編集人 松岡正夫

発行人 猿丸吉左エ門

印刷所 日本写眞印刷株式会社

京都府中京区生花井町三
芦屋市精道町九三

発行所 芦屋市役所

おちついた座敷



きとりいたサービス

夏は涼しく冬は暖かい



清風ナ牡

電話番號 4969

芦屋海岸

昭和廿四年十二月一日印刷

消費生活の合理化推進!!

灘生活協同組合芦屋支部

| | | | | |
|---|---|---|---|------|
| 支 | 部 | 店 | 鋪 | 番 |
| 外 | 交 | 張 | 番 | 番 |
| 伊 | 出 | 張 | 番 | 番 |
| 勢 | 芦 | 屋 | 出 | 番 |
| 東 | | | | 4406 |

信用の出来る組合指定店

表具一式 西村清貞堂

芦屋市三八通り
電話 2079 番

最も新らしき設計
皆様の御好みに依る建築をする

土木

建築

綜合

請負



神井建設工業株式會社

電話 芦屋二八八三番地

社長 神井清太郎

力本ボウ製品

毛織物服地

衣料登錄店

絹織物服地

各種、裏地



芦屋市本通り

甲陽市場西入口前